

# 箕面地区におけるサンプラザの公共機能の位置付けの整理

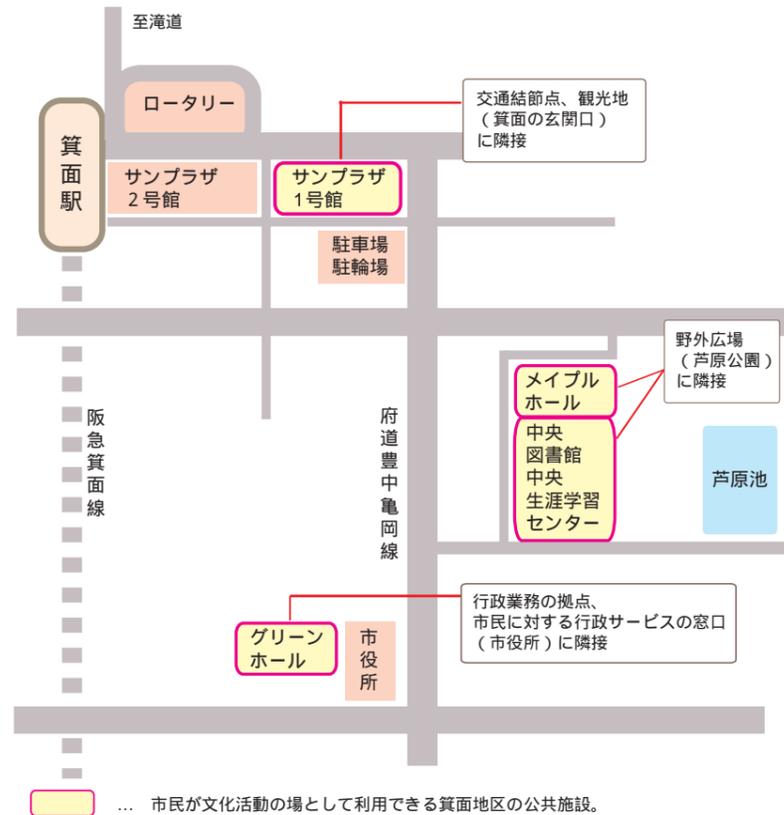
## みのおサンプラザの位置付け

あらゆる目的に応じた  
各種団体・個人の活動と発表の場

まちと人の活動情報発信拠点

- 下表に示すように、みのおサンプラザは市民活動の場を提供する箕面地区の公共施設の中でも、規模、用途的に汎用性がある。そのため、利用団体の割合を見ても、文化団体・個人やその他団体・個人の利用の割合が高い。
- 公共施設としての位置付けとしては、「あらゆる目的に応じた各種団体・個人の活動と発表の場」として定めることで、多様な利用の仕方が可能な施設としての機能の充実に努める。これを他施設との役割分業を図る特性として活かしながら、本計画を推進する。
- また、「文化活動の発表の場」としての役割に関しては、駅前に立地することを活かして、ソフトの面でも「地域の顔」となるべく、まちと人の活動情報発信拠点としての機能の充実に努める。

## 【箕面地区の公共施設（文化活動施設）と位置関係】



# 現在の利用状況から見た再配置案の検証

## 【現在の用途・規模】

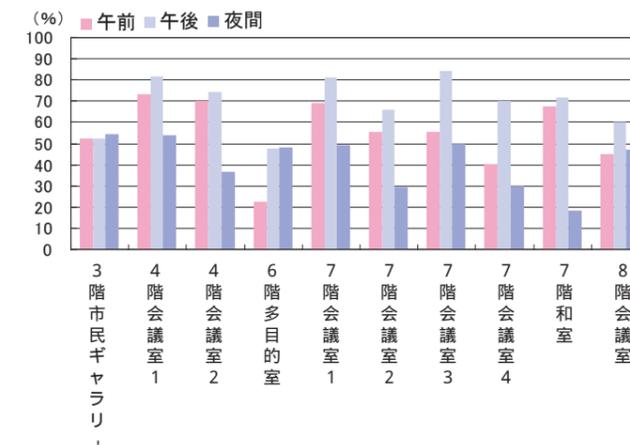
	用途	規模	収容人数
3階	市民ギャラリー	302	-
4階	会議室1	67	30
4階	会議室2	63	30
6階	多目的室全コーナー	375	120
7階	会議室1	66	30
7階	会議室2	66	30
7階	会議室3	40	20
7階	会議室4	90	60
7階	和室	40	30
8階	会議室	232	200
		(㎡)	(人)

他の機能に置き換わる

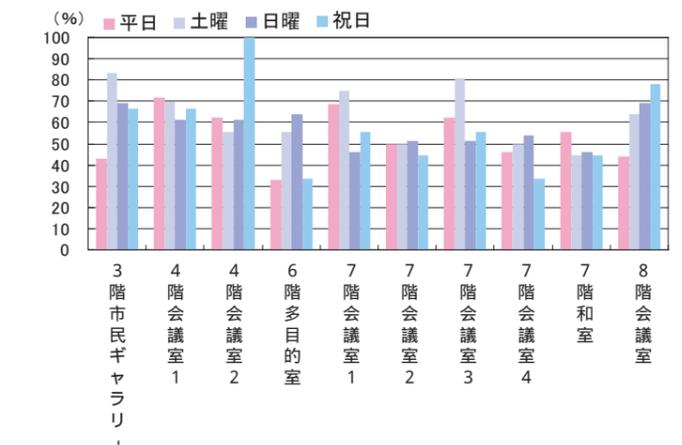
- 前回の懇話会で提示した再配置レイアウトのイメージ案では、4階及び、7階の一部の会議室が新たな機能に置き換わる。会議室の機能を確保する方法として、7階会議室1・2の稼働率を高める有効的な利用プログラムを組み合わせること、B1に新設するサークルホールに可動間仕切りを設置して、会議機能にも対応させるといった対策を検討している。表を見ると、6階多目的室（サークルホールに機能移設）は現在でも稼働率が5割程度であり、特に平日午前中は利用率が低い。会議機能との組み合わせは検討できるものと考えられる。
- また、会議機能についてはグリーンホール、中央生涯学習センターにも類似施設があり、稼働率に余裕があるため、横断的な利用プログラムの調整も検討できるものと考えられる。

## 【サンプラザ内公共施設の利用状況 平成15年度】

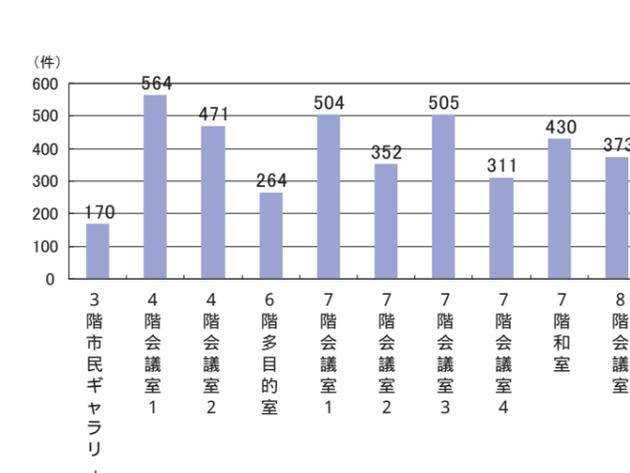
### ①年間平均稼働率（時間帯別）



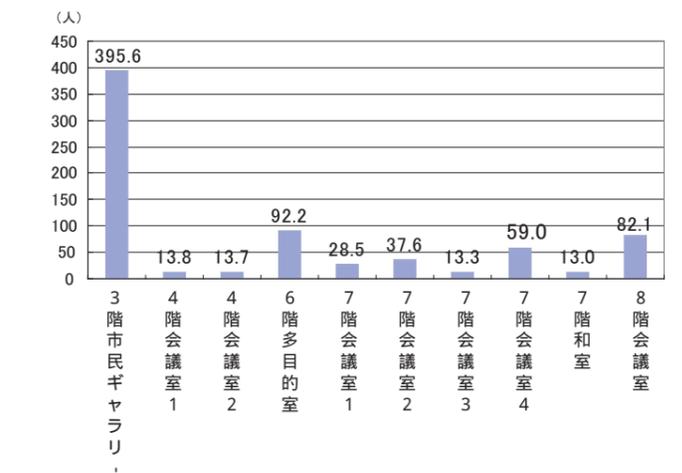
### ②年間平均稼働率（平日・土日祝日別）



### ③年間利用件数



### ④1件あたりの平均利用者数



生涯学習ネットワーク実績報告書 平成15年度版 参照

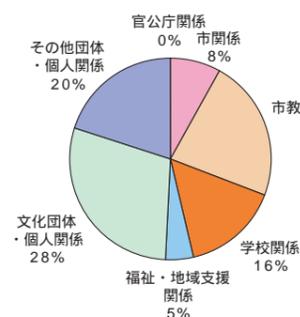
- 表に見るように、市民ギャラリー、6階多目的室、7階会議室4、8階会議室等、で行われる活動には、1回に多くの人数が参加する。今回の再配置において、市民ギャラリー、多目的室等の機能をB1階に一体的に集約することで、常に人が集まる状態ができるものと思われる。貸床の利用効率の向上のためには、空間の有効利用や活動プログラムの合理化を図る必要がある。限られた場所を有効活用し、また地下に開放的な空間を設けるために、必要に応じて市民ギャラリー・サークルホールと一体的に使用することが可能となるような、相応の面積を持つ「フリースペース」と設置する。

## 【箕面地区の公共施設の用途と規模】

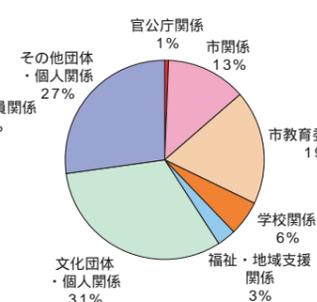
用途	収容人員	各施設の部屋数（サンプラザは再配置案に基づく）				(サンプラザの部屋数の根拠)
		メイプルホール	グリーンホール	みのおサンプラザ	中央生涯学習センター	
公演、活動発表、イベントホール	500人以上 100~200人	1 1	1	2		大会議室、市民ギャラリー
公演準備室	100人	1		2		控入室
集会、会議、多目的室	3~10人 40~60人 20~30人	8 3 2	2 3 2	3 3 3	1	サークルホールを分割して活用 会議室
個別の活動に特化した専門室	30~50人 10~20人			3 3	5	プレイルーム、和室、体験学習室 音楽スタジオ

## 【箕面地区の公共施設の利用団体（企画主催者）の割合】

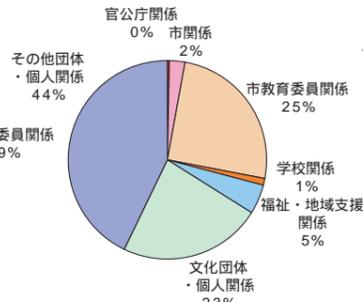
### 【メイプルホール】



### 【グリーンホール】



### 【みのおサンプラザ】



### 【中央生涯学習センター】

